

先天性心疾患における脳性ナトリウム利尿ペプチドと心血管機能との関連

1. 研究の対象

2009年1月1日から2025年12月31日に岩手医科大学小児科・循環器小児科で心臓カテーテル検査を受けられた方

2. 研究期間

倫理委員会承認後～2028年12月31日まで

3. 研究目的・方法・研究結果の報告

BNPおよびNT pro BNPは心不全に伴って血液中濃度が上昇する蛋白質で、心不全の補助診断に使われています。一方、生体にはBNP以外にも似たような蛋白質が存在し、心臓や血管を保護する役割を担っていることがわかっており、これらが排泄・消化されないようにすることで心不全を治療する薬剤が近年発売されました。しかしこどもの心臓病に役立つかはわかっていません。本研究では既にカテーテル検査の前に検査されたBNPやNT pro BNPの血中濃度のデータと心不全の程度をカルテのデータを用いてBNPやNT pro BNPの代謝が遅くなることが心不全の予防に役立っているかを解析します。

この研究ではカルテのデータを集めて解析するので、この研究のために患者さんから採血したり、検査を追加したりすることはありません。また、個人が特定されないように、研究のために集積したデータは匿名化して解析し、研究期間経過後に確実に破棄いたします。

本研究の結果は、個人が特定されない形で、学会ないし論文発表されることがあります。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ー 心臓カテーテル検査前後に採血した血液中のBNP・NT pro BNPの値、体の臓器障害を示すデータ、カテーテル検査中に得られた心内各部位の圧、酸素濃度等診療録にあるデータ等
- ー 生年月日、身長、体重、検査日時、病歴等

5. 研究費および利益相反

研究費は岩手医科大学小児科学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係はありません

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL：019-651-7111（代表）内線 3701

FAX：019-907-7104

E-mail: hsaiki@iwate-med.ac.jp

岩手医科大学医学部 小児科学講座

研究責任者 齋木宏文

-----以上